

学校給食献立コンテスト募集結果

関就学支援課 ☎046(235)4921

学校給食への関心を高めるため、市内在住・在学の小・中学生を対象に募集し、979点の応募がありました。市長賞と教育長賞は次のとおりです。

絵画・イラスト部門

市長賞 奥村真大さん(杉本小6年)「海老名産

えびなさん給食(画像上)

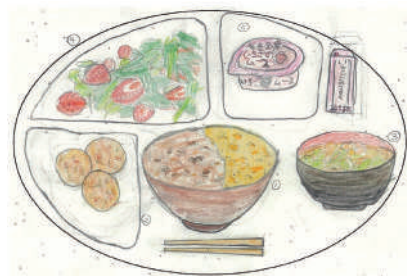
教育長賞 松木康樹さん(中新田小2年)「あゆのしおやきていしょく」

レシピ部門

市長賞 波平知弥さん(東柏ヶ谷小5年)「野菜いっぱいトマトカレーうどん」(画像下)

教育長賞

平川煌大さん(今泉小6年)「トマトたっぷりマーボー麺」



普通救命講習〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕

関警防課 ☎046(231)0932

普通救命講習〔Ⅰ〕

成人に対する心肺蘇生と、AED(自動体外式除細動器)の使い方学びます。

普通救命講習〔Ⅱ〕

普通救命講習〔Ⅰ〕のほか、筆記試験・実技試験があります。

日〔Ⅰ〕2月14日(土)9時〜12時
〔Ⅱ〕2月21日(土)9時〜13時
場消防署本署
対市内在住・在勤・在学の中学生以上の方
定各回先着20人
費無料
申1月6日(火)9時から、市ホームページで



海老名の〇〇 vol.1

11月1日に市制施行55周年を迎えます。11月1日号までの全11回、海老名を象徴する「〇〇」を紹介します。

海老名の花「サツキ」



市民が作成した図案。現在も市の公式デザインとして使われている

海老名の自然環境に対する市民意識を高めるため、昭和47(1972)年に市の花としてサツキが定められました。

アジサイ・カーネーション・ツツジなど10種の候補を対象に投票が行われ、サツキが総数283票中65票を集めました。

サツキは日本特産種の半常緑低木で、鉢花や庭木として栽培され、5〜6月頃に美しい花を咲かせます。花の色も白・桃・紅色など変化に富んでいることから、多くの愛好家たちが盆栽で楽しんでいます。



昭和48(1973)年、厚木駅東側に誕生した街並みに「さつき町」と名付けました。

村から町、市へ 海老名の庁舎ものがたり



第42回
施設

明治22(1889)年、国の「市制町村制」施行により、海老名村と有馬村が誕生した。昭和15(1940)年、海老名村は町になり、30(1955)年には有馬村と合併した。その後も人口は徐々に増え、46(1971)年には市制を施行。海老名市はことしで55年目を迎える。まちの発展に合わせて更新した歴代の庁舎を写真で振り返る。

海老名村役場・海老名町役場写真①

大正7(1918)年、海老名村役場として建設。その後、町役場や商工会事務所としての役割を経て、昭和57(1982)年から郷土資料館海老名市温故館となる。温故館は平成23(2011)年に現在地に移築。令和5(2023)年、国登録有形文化財となった。



①



郷土資料館海老名市温故館オープン時

有馬村役場写真②

昭和3(1928)年、大正12(1923)年の関東大震災で全壊した旧庁舎を再建した。海老名町と合併後は海老名町役場有馬支所として活用。昭和49(1974)年に取り壊された。



②



昭和2(1927)年、有馬村役場上棟式

海老名町役場・海老名市役所写真③

昭和41(1966)年、旧庁舎が手狭となったため、将来の開発計画を念頭に、見渡す限りの田園であった国分関免地区に移転し建設した。市制施行はこの庁舎で迎えている。跡地には海老名プライムタワーが建設された。



③

現海老名市役所写真④

急激な人口増加による増築で窓口が分散していたため、平成元(1989)年、現在の位置に移転し新庁舎を建設。同年4月から稼働を始めた。周辺の用水路や道路も整備され、今に至る。上の写真は海老名駅側から庁舎建設途中をとらえたもの。



④



庁舎変遷マップ